2026年11月6日

各　位

会　社　名　株式会社グラッドキューブ
代表者名　代表取締役CEO　金島　弘樹
（コード番号：9561　東証グロース）
問合せ先　執行役員CFO　篠原　直
ir@glad-cube.com

特別損失（事務所移転損失）の計上に関するお知らせ

当社は、東京事務所の移転に伴い、2026年12月期第４四半期連結会計期間において特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．東京事務所移転の目的

当社は、持続的な成長と企業価値の向上に向けた経営基盤の強化を目的として、東京事務所を移転いたしました。本移転の主な目的は以下のとおりです。

（１）固定費の大幅な圧縮

当社の現在の働き方および事業規模に見合った執務スペースへと最適化することで、地代家賃をはじめとする固定費を大幅に削減し、より効率的で収益性の高いコスト構造への転換を図ります。

（２）従業員間のコミュニケーション活性化

執務スペースを集約し、従業員同士が日常的に顔を合わせて交流できる環境を整えることで、部門を越えたコミュニケーション機会の拡大を図ります。これにより、情報共有および意思決定の迅速化、協働による生産性・組織力の向上につなげてまいります。

（３）成長領域への経営資源の再配分

本移転により削減されるコストを、AIを活用したサービス開発をはじめとする成長領域への投資に振り向けることで、資本効率の向上と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

２．特別損失の内容及び金額

本移転に伴い、事務所移転に係る費用など31百万円を特別損失（事務所移転損失）として計上する見込みです。

３．本移転による効果

本移転により、地代家賃等の固定費は、新事務所の家賃等考慮後で年間約45百万円削減される見込みです。当期においては一時的な特別損失が発生するものの、当該移転関連費用は移転後約９ヶ月で回収できる見込みであり、翌期以降の収益力の向上に継続的に寄与するものと考えております。

４．業績への影響

2026 年８月７日に公表いたしました 2026 年 12 月期の通期連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

（参考）移転の概要

移転前所在地　東京都港区赤坂４丁目 8 番 15 号 赤坂 KOSEN ビル 8F
移転後所在地　東京都港区南青山２丁目 4 番 15 号
業務開始日　　2026 年 10 月 20 日

以　上